

「立ち上がる力」 —先週の講壇より—

「倒れれば、ひとりがその友を助け起こす。」 伝道の書 4 : 10 【新共同訳】

インドに、サンダー・シングという大伝道者がおられました(1889-1929)。その彼が、チベットを伝道旅行していた時のお話しです。彼は雪山を、ガイドと共に次の村に向かっていました。すると行倒れの人を見つけ、駆け寄ってみるとまだ息がある。彼を助けたいというサンダー・シング、しかしガイドは共倒れになるから無理だという。そしてガイドはそのまま村に向かい、サンダー・シングは雪降る中を彼を背負って歩き続けました。ようやく一軒の家を見つけて助けを得た二人でしたが、のちに分かったことは、一人で行ったはずのガイドは亡くなったということでした。どうして彼らは助かったのか、それは猛吹雪の中、期せずして二人は互いの体温で体を守り合うことになったのです。

主のために生きる、誰かのために愛の業をする、それはこういうことなのだろうと思わされます。他者を生かし、そしてそれは結果的に自分も生かしていくということです。

それは理屈では分かるが、現実にはとても難しいことです。では、なぜそのようなことが出来るのか。それは、倒れた私のために、イエス様が十字架にかかり、この私を助け起こしてくださったから。主の愛によって生かされているからこそ、今度は誰かのお役に立つような生き方をしていくことができるのでしょうか。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2024年11月24日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「主を仰ぎ見て、光を得よ」

詩篇 34 : 5

☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:30

ブレイク : 10:30-10:45

聖書クラス : 10:45-11:45

(現在第二と第四または第五週)

